

## 第2回 香取地区地域協議会 次第

日 時 令和6年2月2日（金）午後2時から  
場 所 北総教育事務所香取分室 大会議室

- 1 開 会
- 2 教育委員会挨拶
- 3 報 告  
（1）第1回香取地区地域協議会の概要
- 4 議 事  
（1）香取地区における県立高校の在り方について  
（2）その他
- 5 報告・連絡
- 6 閉 会

### 【資料】

- 資料1 再編内容及びその評価について（小見川高校）
- 資料2 再編内容及びその評価について（多古高校）
- 資料3 再編内容及びその評価について（佐原白楊高校・佐原高校）  
※佐原高校は「基礎資料」を参照

第1回香取地区地域協議会 記録（案）  
第2回出席者名簿  
第2回座席表

## (3) 福祉教育の充実

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
松戸向陽	25年度	普通科 福祉に関する学科	・福祉教育の拠点校 ・普通科に福祉コースを設置
長 狭 (再掲)	26年度	普通科	・医療・福祉コースを設置 ・コミュニティ・スクールを設置 (H24)
小見川	27年度	普通科	・福祉コースを設置

## 【再編の内容】

- ・県全体の福祉教育の充実を図るため、**松戸向陽高校**を福祉教育の**拠点校**とします。
- ・福祉教育の拠点校化に併せて、学校全体で福祉教育を推進する環境をつくるため、**松戸向陽高校**の普通科に**福祉コース**を設置します。
- ・福祉について、地域や県全体の福祉教育の充実を図るため、地域バランス等を考慮し、**長狭高校**に**医療・福祉コース**、**小見川高校**に**福祉コース**を設置します。

## 【拠点校の役割】

- ・拠点校を中心に、県内福祉コース、福祉系列設置校とのネットワークを構築し、福祉に関する知識や技術の習得などの研修を重ねることで、福祉教育のレベルアップを図ります。

## 【福祉コース】

- ・主として、高齢者の介護に必要な専門知識や技術を習得するとともに、介護員としての気遣いや配慮、マナーを学習し、将来福祉分野で活躍できる人材を育成します。
- ・将来的には、授業および施設実習や介護員養成研修を受講することで、卒業時に訪問介護員（ホームヘルパー）2級を取得できるようにします。
- ・特に、長狭高校については、近隣に位置する医療施設や医療大学との連携により、医療と福祉をリンクさせた教育が展開できるよう考慮することとし、医療・福祉コースを設置します。

(2) 福祉コースの設置

普通科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 医師、教員、介護従事者等不足する人材の育成などを視野に入れ、社会のニーズに対応したコースを設置します。

ア 第1次実施プログラムにおける「福祉コース」の設置

(ア) 対象校

- ・ 小見川高校 普通科

(イ) 再編の内容

- ・ 主として、高齢者の介護に必要な専門知識や技術を習得するとともに、介護員としての気遣いや配慮、マナーを学習し、将来福祉分野で活躍できる人材を育成します。
- ・ 将来的には、授業及び施設実習や介護員養成研修を受講することで、卒業時に福祉に関する資格を取得できるようにします。

イ 実施状況

- ・ 2学年からコースに分かれ、介護職員初任者研修の修了を目指しています。
- ・ 平成29年度卒業生のうち19名がコースを選択していました。
- ・ コース選択者は2学年で「社会福祉基礎」（2単位）、「介護福祉基礎」（2単位）の科目を履修し、医療従事者や福祉施設職員等による講演や、関係する施設の見学や実習を行っています。
- ・ 3学年では、「介護総合演習」（4単位）などの科目を履修し、将来の進路を見据えた専門的な介護体験実習を行っています。
- ・ コース選択者のうち42.1%（8人）が介護関係の進路に進みました。

ウ まとめ

■成果と課題（○成果・●課題）

- 学習内容に対する生徒の満足度が高く、ニーズに応えています。
- 資格を活用した就職や、より高い資格の取得を目指した進学など、社会の要請に応えた人材を育成し、職業的自立に向けた能力や態度を育てています。
- 福祉コース選択に当たり、社会福祉の理念と意義を理解させる必要があります。

■今後の取組の方向性

- 福祉コースの選択に当たって、事前に福祉コースの理念への理解を深められるよう、1学年で福祉について学ぶ機会を設けます。

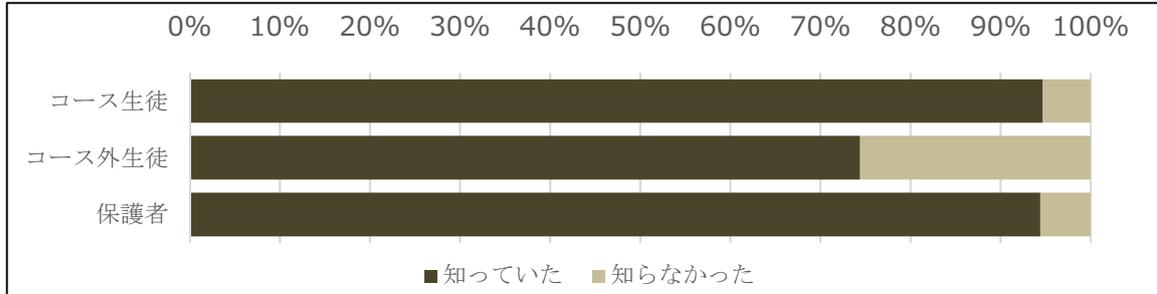
### (3) 福祉コース（小見川高校）

#### ア アンケートの実施

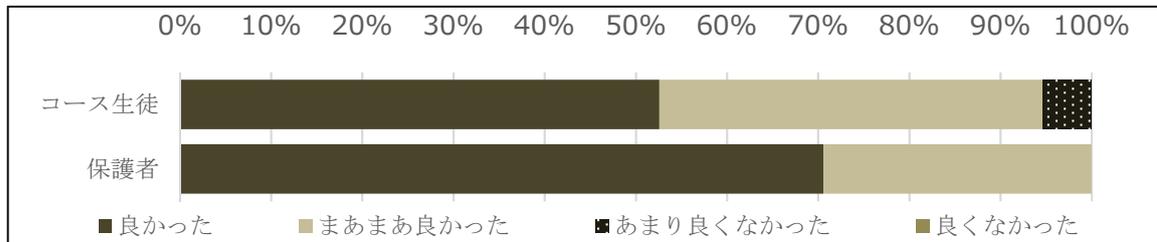
(ア) 実施時期 平成 29 年 12 月

(イ) 回答数 コース生徒 19、コース外生徒 41、コース選択者の保護者 18

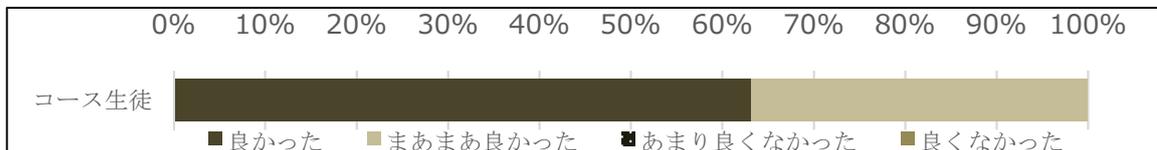
#### イ 受検前に「福祉コース」があることを知っていましたか。



#### ウ 「福祉コース」の授業内容に満足していますか。

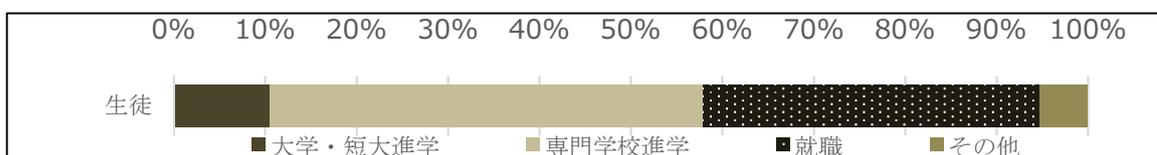


#### エ 「福祉コース」を選択して良かったですか。



- ・ 将来、役に立つ資格が取れた。
- ・ 自分の進路（福祉）に役に立った。
- ・ 福祉について、知識、技術、制度を学べて良かった。

#### オ 「福祉コース」の進路希望状況



- ・ 大学進学：福祉関係
- ・ 専門学校：福祉関係、看護関係、理学療法士関係など
- ・ 就 職：介護職など
- ・ そ の 他：未定

(3) 医療系コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
小見川	6年度	普通科	・医療コースを設置

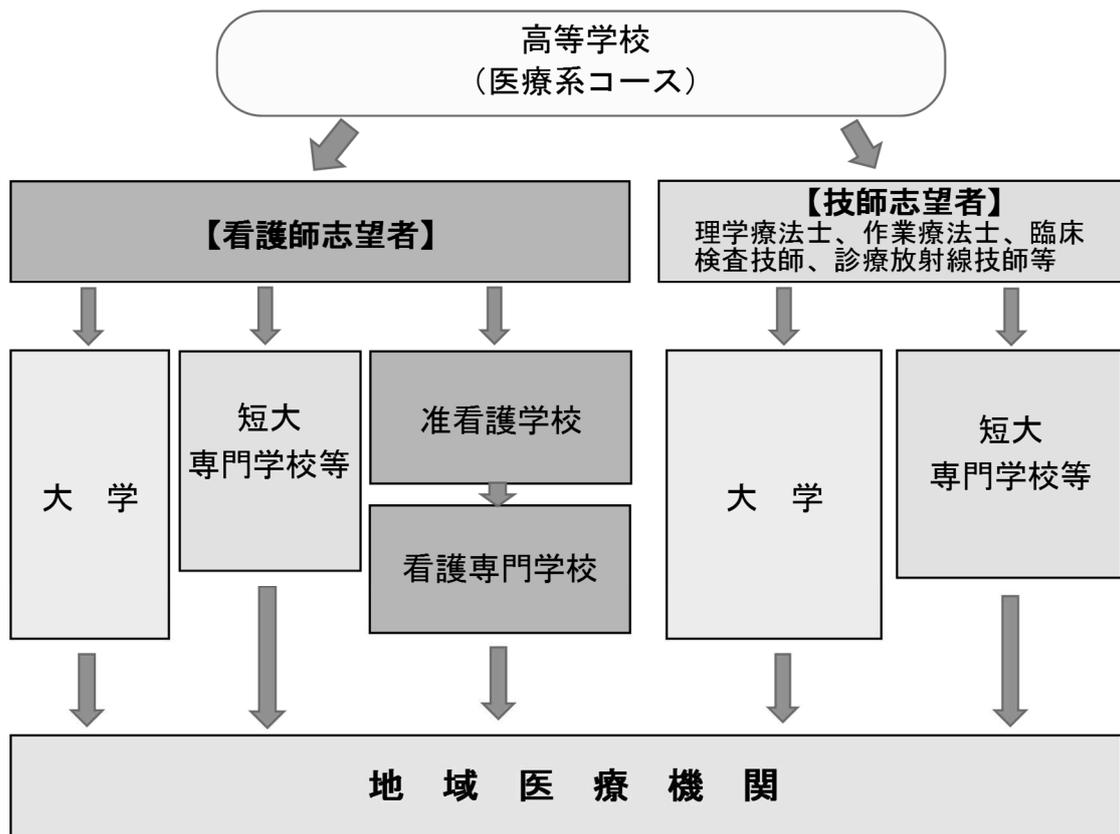
**【再編の内容】**

- ・近隣に位置する医療機関等との連携により、幅広い医療分野についての体験的な学習を通して、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、診療放射線技師、言語聴覚士等の医療従事者への意欲を醸成し、地域医療に貢献する人材の育成を図るため、小見川高校に医療コースを設置します。

**【教育内容等】**

- ・近隣に所在する地域医療の拠点等との充実した連携により、看護師や医療技師等を含む幅広い分野にわたる、多面的な教育を行います。
- ・医療従事者等による講演会や出前授業、また、病院や関連施設における実習等を通じて、医療への興味・関心を高めます。
- ・医療体験実習や大学における講義の受講等を通して、医療従事者になるための心構えを育むとともに、医療現場の実情や様々な職種についての理解を深めます。

《参 考》卒業後の進路イメージ



## (7) コミュニティ・スクールの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
多 古	24年度	普通科 農業に関する学科	・コミュニティ・スクールを設置
長 狭 (再掲)	24年度	普通科	・コミュニティ・スクールを設置 ・医療・福祉コースを設置 (H26)

## 【再編の内容】

- ・保護者や地域住民が、合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って、教育委員会、校長と責任を分かち合いながら学校運営に携わっていくことで、地域に開かれた、地域に支えられる、より良い教育の実現を目指すコミュニティ・スクールを多古高校と長狭高校に設置します。

2 職業系専門学科・コース

(1) 農業に関する学科の学科再構成

対象高校	実施年度	備 考
農業に関する 学科設置校	30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業に関する学科を、次の6学科に再構成</li> <li><u>園芸科</u>：基礎から幅広く農業を学ぶ学科</li> <li>農業科：園芸科の学びに加え動物の飼育等も学ぶ学科</li> <li>食品科学科：食品の加工・製造・流通等を学ぶ学科</li> <li>土木造園科：農業土木と造園の知識と技術等を学ぶ学科</li> <li>畜産科：家畜の飼育の知識と技術等を学ぶ学科</li> <li>生物工学科：動植物のバイオテクノロジー等を学ぶ学科</li> </ul>

【再編の内容】

- ・農業に関する各学科について、中学生や保護者、中学校関係者等にわかりやすい学科体系及び名称とするため、学習内容に基づいて次のとおり学科名の変更など学科再構成を行います。

高校名	現在の学科	→	再構成	高校名	現在の学科	→	再構成
流山高校	園芸科	}	園芸科	大網高校	生産技術科	}	農業科
	生活科学科				農業経済科		
成田西陵高校	生産技術科	}	園芸科		食品工業科	食品科学科	
	生活科学科				生物工学科	(変更なし)	
	環境建設科	土木造園科	茂原樟陽高校	生産技術科	農業科		
	生産流通科	食品科学科		生産流通科	食品科学科		
下総高校	生産技術科	園芸科	鶴舞桜が丘高校	緑地計画科	土木造園科		
多古高校	生産流通科	園芸科		食とみどり科	園芸科		
旭農業高校	畜産科		(変更なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬園台高校、清水高校及び上総高校における農業に関する学科については、現行の学科名とします。</li> </ul>			
	生産技術科	}	園芸科				
	生活科学科						
	食品流通科	食品科学科					

【教育内容等】

- ・学科の再構成に当たっては、農業に関する学科を設置するすべての学校において、現状の学習内容を継承しつつ、基礎学力の定着に向けた取組や進学への対応など、必要に応じて教育課程の見直しを行います。
- ・各校の特徴を生かした農業教育を展開するとともに、6次産業化など農業施策と整合した教育活動に積極的に取り組みます。
- ・各校が、農業教育の拠点校である茂原樟陽高校や農業中心校の実践で得られた成果を共有するとともに、農業高校を支援する組織等の協力を得て、積極的に関係機関との連携による教育活動を実施し、県全体の農業教育の底上げを図ります。
- ・地域や学校の実態を踏まえ、魅力ある学校づくりを推進します。

# 県立学校改革推進プランに係る評価（平成30年度再編実施分） 抜粋

## 2 職業系専門学科・コース

### (1) 農業に関する学科の学科再構成

職業系専門学科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 地域のニーズや地域性を踏まえた学校配置、学科の検討を行い、必要に応じて、わかりやすい学科名への変更などを含めた学科再構成等を行います。
- 担い手育成や6次産業化※<sub>1</sub>といった農業施策と整合した教育の推進に留意しながら、他校・他学科をはじめ、小・中学校や農業大学校等の教育機関、行政機関及び地域の諸団体等との連携を推進し、教育内容の充実を図ります。

#### ア 農業に関する学科の学科再構成（第3次実施プログラム）

○対象校及び再編の内容（プログラムより抜粋）

高校名	現在の学科	→	再構成
流山高校	園芸科	}	園芸科
	生活科学科		
成田西陵高校	生産技術科	}	園芸科
	生活科学科		
	環境建設科	→	土木造園科
	生産流通科	→	食品科学科
下総高校	生産技術科	→	園芸科
多古高校	生産流通科	→	園芸科
旭農業高校	畜産科		(変更なし)
	生産技術科	}	園芸科
	生活科学科		
	食品流通科	→	食品科学科

高校名	現在の学科	→	再構成
大網高校	生産技術科	}	農業科
	農業経済科		
	食品工業科	→	食品科学科
	生物工学科		(変更なし)
茂原樟陽高校	生産技術科	→	農業科
	生産流通科	→	食品科学科
	緑地計画科	→	土木造園科
鶴舞桜が丘高校	食とみどり科	→	園芸科

- ・農業に関する各学科について、中学生や保護者、中学校関係者等にわかりやすい学科体系及び名称とするため、学習内容に基づいて次のとおり学科名の変更など学科再構成を行います。
- ・薬園台高校、清水高校及び上総高校における農業に関する学科については、現行の学科名とします。

#### イ 実施状況

- ・拠点校（茂原樟陽高校）が中心となって運営しているアグリサポーターズちばの仲介によって、地元農家でインターンシップを行う仕組みを整えています。
- ・地元名産の「多古米」や千葉県育成品種「チーバベリー」の生産実習を行うなど、県の農業施策と整合した教育を展開しています。

第6次産業※<sub>1</sub>：生産から加工、販売まで一元的に実施する産業。

- ・各学校では、県立農業大学校が実施する農業教員研修に参加するなど、外部機関との交流を図っています。
- ・茂原樟陽高校では、農業生産工程管理（以下GAP<sub>※2</sub>）認証に係る5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、躰（習慣））について全校をあげて推進する体制作りが進んでいます。



【生産実習の様子①】



【生産実習の様子②】

#### ウ まとめ

##### (ア) 成果と課題（○成果・●課題）

- 学科名から教育内容がわかるようになり、学習内容を理解した上で入学する生徒が多くなっています。
- 拠点校（茂原樟陽高校）を中心としたGAPに重点を置いた、加工や販売までを視野に入れた教育を展開するようになりました。
- 家庭科（食品・保育）など、他教科と連携した横断的な教育が行われています。また、普通科を併置している学校では、農業選択科目を設置するなど、他学科との連携が行われるようになりました。
- 先進農家や農協、農業事務所などと連携した活動を進めています。
- 今後も都市部や郡部などの地域性を踏まえた更なる学科再構成の検討が必要です。
- アグリサポーターズちばの運営など、拠点校が中心となって行っている活動を他校にも積極的に拡充することで、学びの内容を更に充実させていくことが必要です。

##### (イ) 今後の取組の方向性

- ・農業の学びを充実させるため、他学科との連携や教科横断的な学習を更に促進します。
- ・拠点校を中心としたGAPへの取組を他校でも検討するなど、実践的な生産工程を管理していく教育を更に充実させます。
- ・最先端の農業を学ぶために、スマート農業についての学びを更に充実させる必要があります。そのため、工業系の学科や大学等との更なる連携を図る必要があります。
- ・産業界と連携した人材育成について、インターンシップを更に充実させ、雇用就農の拡大を目指します。

---

GAP<sub>※2</sub> : Good Agricultural Practices の略。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のこと。

## 2 単位制高校の設置（総合学科を除く）

対象高校	実施年度	設置学科	備考
佐原女子	15年度	普通科	・共学化を実施。 ・佐原白楊高校に校名変更。
幕張総合 (再掲)	15年度	普通科	・統合の欄を参照。 ・16年度若葉看護高校と統合。
佐 倉	17年度	普通科	
長 生	17年度	普通科 理数に関する学科	
成田国際	18年度	普通科 国際理解に関する学科	現在ある英語科と国際教養科を国際人文科に改編する。
松戸国際	18年度	普通科 国際理解に関する学科	

## 単位制高校について

- ・ 従来の学年ごとに定められた教科・科目を履修するのではなく、必修科目以外は生徒の特性・個性や能力・進路目標に応じた教科・科目を選択・履修します。
- ・ 単位認定については、過去に在籍した高校で修得した単位を卒業に必要な単位として認定するなど、柔軟な単位認定を行います。
- ・ 入学年次別集団の枠を越え、異年齢集団での授業があります。
- ・ 前期と後期で単位認定を行う2学期制を導入します。
- ・ 学年の修了認定がなく、留年もありません。
- ・ 一定の単位数を修得すれば、卒業できます。
- ・ 終業年限は学年制と同様、全日制課程については3年、定時制及び通信制課程については3年以上です。

#### 4 中高一貫教育校の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備考
関宿	16年度	普通科	関宿町立木間ヶ瀬、二川、関宿中学校の3校と連携。

##### 連携型中高一貫教育校について

- ・ 連携中学校から連携高校へ進学する際、面接等のいわゆる簡便な入試で入学できます。
- ・ 6年間を通して生徒の個性や能力の一層の伸長を図り、特色ある教育内容、例えば、郷土に関する学習を展開していきます。
- ・ 中学校・高校の系統的な学習、異学年集団での体験学習や学校行事等を通して、教員や生徒の交流を深めます。

#### 5 共学化

対象高校	実施年度	設置学科	備考
若葉看護 (再掲)	14年度	看護に関する学科	・統合の欄を参照。 ・16年度幕張総合高校と統合。
佐原女子(再掲)	15年度	普通科	単位制の欄を参照。
松戸	16年度	普通科 芸術に関する学科	芸術科を設置し、美術・工芸の2つの類型を置く。
茂原	16年度	普通科	
大多喜女子 (再掲)	16年度	普通科 外国語に関する学科	・統合の欄を参照。 ・16年度大多喜高校と統合。
佐倉東	17年度	普通科 家庭に関する学科	調理系、デザイン系を置く。
御宿 (再掲)	17年度	総合学科	・統合の欄を参照。 ・17年度勝浦高校と統合。
松尾	18年度	普通科	・福祉系コースを置く。
野田 (再掲)	18年度	普通科	・統合の欄を参照。 ・18年度野田北高校と統合。

## 2. 魅力ある高等学校の設置

### (1) 単位制高校

#### 【現行再編計画】

全日制高校については、総合学科だけではなく、普通科や一部の専門学科を含め、16校程度設置する。

なお、定時制の課程及び通信制の課程は、原則として単位制とする。

※ 単位制高校とは、学年の区分がなく、生徒が自らの興味・関心や進路希望等に応じて履修する科目を選択し、修得単位数の合計が卒業に必要な単位数を満たせば、卒業できるシステムの高校

#### 【実施状況】 全日制高校 16 校及び定時制課程、通信制課程に単位制を導入

	単位制導入校
第 1 期	総合学科：八街(H15)、君津青葉(H16)、安房拓心(H17)、勝浦若潮(H17) 国際高校：成田国際(H18)、松戸国際(H18) <u>普通科等</u> ：佐原白楊(H15)、幕張総合(H15)、佐倉(H17)、長生(H17) 通 信 制：千葉大宮(H18) [三部制定時制併置校：松戸南(H18)]
第 2 期	市原八幡(H18)、千葉東(H20)、船橋西(H20)、印旛明誠(H22) 夜間定時制(H18) [三部制定時制併置校：生浜(H19)]
第 3 期	船橋(H21)、木更津(H21)

#### 【前期分に係る評価】

- 多様な選択科目の設定、進路希望や習熟度等に応じた主体的な科目の選択、二学期制導入による授業時間の確保など、多様な進学志望への対応が図られた。
- ガイダンス機能の充実を図っていることから、生徒が早期に進路について関心を持ち、科目を選択することで、学習意欲が高まっている。また、単位制による多様な選択科目の設置に伴う職員の配置などにより、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等、個に応じた指導が可能になっている。
- 社会人や地域の人々が受講可能な科目を設定し、科目履修生として受入れ、県民の生涯学習ニーズに応える「地域の学習センター」としての役割を果たす学校づくりも見られる。
- 大学受験等にかかわらない科目の軽視や、安易な科目選択にならないよう、キャリア教育の一環として十分な科目選択指導が必要である。
- 単位制の良さが生徒・保護者・中学校側に十分理解されていない状況が指摘されており、今まで以上に広報していく必要がある。

## (6) 女子校の共学化

### 【現行再編計画】

男女共同参画社会の進展を踏まえ、原則として女子校を共学化する。

女子校 13 校のうち 11 校程度を共学化し、残る 2 校程度については、女子校に進学を希望する生徒に配慮し、学区を県内全域とするなどして存続する。

### 【実施状況】 女子校 13 校のうち、11 校を共学化（女子校 2 校）

	共学化実施校
第 1 期	若葉看護(H14)、 <u>佐原女子(H15)</u> 、松戸(H16)、茂原(H16)、大多喜女子(H16) 佐倉東(H17)、御宿(H17)、松尾(H18)、野田(H18)
第 2 期	銚子(H19)、安房南(H20)

### 【前期分に係る評価】

- 共学化は男女の自然な交流ができ望ましい姿であり、実施した多くの学校で志願確定倍率・大学進学率などの向上、生活指導面での改善、部活動の充実、学校行事の活性化等が見られる。
- 特に学校数の少ない地域における共学化は、男子生徒の学校選択幅の拡大、学校配置の適正化の推進等、総じて地域のニーズに的確に対応したものといえる。
- 男子生徒の比率が 30%以下の学校もあることから、男子生徒がさらに魅力を感じる学校づくりに努める必要がある。
- 残る 2 校の女子校（千葉女子高校・木更津東高校）については、女子校に入学したいという中学生の志望も少なからずあることや地域の状況を考慮し、学区のあり方を含めて検討していく必要がある。



〔茂原(共学化)・学年レクリエーション〕

〔木更津東(女子校)・音楽コンクール〕

